令和8年度インターンシップ実習テーマ

No.	部署・センター名	実施場所	課題・テーマ	受入人数	受入条件				受入可能期間			実施日数	研修概要	受入れ担当者 問合せ先メールアドレス	備考 （特に連絡しておく必要のある事項等）
					区分	専攻学科等	学年	その他	開始日	～	終了日				
1	極端気象災害研究領域 雪氷防災研究センター	長岡	雪氷災害に関するデータ整理・分析業務	1	大学・大学院(高専含む)	指定なし	指定なし	なし	2026/8/24	～	2027/3/19	5日間	・気象、雪の知識習得 ・気象、雪の観測についての知識習得 ・気象データの取扱い ・雪氷災害に対する防災について	極端気象災害研究領域 雪氷防災研究センター（長岡） 中村　一樹 kazuki.snow@bosai.go.jp	具体的な実施期間は要相談
2	極端気象災害研究領域 雪氷防災研究センター	新庄	雪氷災害に関するデータ整理・分析業務	1	大学・大学院(高専含む)	指定なし	指定なし	なし	2026/8/24	～	2027/3/19	5日間	・気象、雪の知識習得 ・気象、雪の観測についての知識習得 ・気象データの取扱い ・雪氷災害に対する防災について	極端気象災害研究領域 雪氷防災研究センター（新庄） 根本　征樹 mnemoto@bosai.go.jp	具体的な実施期間は要相談
3	都市空間耐災工学研究領域 兵庫耐震工学研究センター	つくば	AIを活用した地震被害・リスク評価の研究開発業務	若干名	大学(高専含む)	指定なし	指定なし	・AIでのデータ解析の経験があることが望ましい ・データ解析用のノートPCを持参してください	2026/8/31	～	2027/2/19	5日間	AIを活用した地震被害・リスク評価に活用する、Ｅ－ディフェンスの大規模実験データ(画像、音響データ等)と実被害データの分析	都市空間耐災工学研究領域 兵庫耐震工学研究センター 小松　佑人 yuto@bosai.go.jp	受入可能期間のうち5日間程度（具体的な実施期間は要相談）
4	巨大地変災害研究領域 火山防災研究部門	つくば	火山災害の被害軽減に係る研究開発業務	若干名	大学院	地球科学 防災学	修士1年以上		2026/10/19	～	2027/3/31	4～5日間	火山活動や火山防災に関する研究業務について、下記テーマの中から複数選択し、実務実習を行う（3～4日間）。 ・地震データ解析 ・傾斜・GPS・重力データ解析 ・赤外熱画像解析 ・数値シミュレーション解析 ・物質分析実習 ・火山防災GIS実習 また、基盤的火山観測施設の見学等の野外実習を実施する（1日）。	巨大地変災害研究領域 火山防災研究部門 森　亜津紗 mori.a@bosai.go.jp	公募締切日8/31
5	社会防災研究領域 防災情報研究部門	つくば	災害対応の情報共有と地理空間情報の活用に関する研究業務	若干名	大学・大学院(高専含む)	指定なし	学部3年以上	防災×AI、社会科学×データ駆動型、防災活動×フェーズフリーなどに関心がある学生が望ましい。	2026/8/17	～	2026/9/30	2週間程度	①災害時の情報支援や情報共有の基礎を習得し、ICTを活用した実践的な災害対応や地域防災についての実務実習を行う。 例） ・自治体防災情報システムに関する意見交換における記録作成 ・災害時の初動対応を支援するシステムやマニュアルの整備 ・地域防災Webにおける防災技術情報登録 ②GISサイト構築やGISを用いた社会データ・災害関連データ分析および加工を通じて、災害情報の可視化や発信方法についての実務実習を行う。 例） ・防災クロスビューによる災害情報発信 ・被害推定処理技術開発におけるデータ整備、分析 【番外編】 ・研究者との意見交換、質問＆相談会	社会防災研究領域 防災情報研究部門 白石　悠広 i_pj@bosai.go.jp	夏季以外での参加は応相談。
6	社会防災研究領域 災害過程研究部門	つくば	・災害過程の解明と災害レジリエンス向上策に関する研究（RS） ・総合知による災害対応DXの推進に関する研究（DX）	4名程度	大学・大学院(高専含む)	指定なし	指定なし ただし、修士課程以上を優先		2026/9/1	～	2026/9/5	5日間（月曜日～金曜日）	【RS】 ・レジリエンス評価に関する研究 ・防災支援人材育成に関する研究 ・地域防災・学校防災の実践手法やツールの研究　等 【DX】 ・災害対応シミュレーションに関する研究 ・災害対応業務の構造化と標準化に関する研究 ・応急対応DXに関する研究　等	社会防災研究領域 災害過程研究部門 李泰榮 yi-ty@bosai.go.jp	実施期間は応相談
7															